

● 中国

徳 永 崇

広島。広島交響楽団の定期公演については、コロナ禍により3月頃まで海外の招聘者の来日が叶わず、国内演奏家への交代や公演延期等に対応。春以降は、第7・8波が到来する中、感染防止策を講じつつ客席制限・演目内容共に概ねコロナ以前の状態を回復。

- ・2月20日第418回定期演奏会／指揮：下野竜也／ストラヴィンスキー《春の祭典》など
- ・3月5日第419回定期演奏会／指揮：円光寺雅彦（ピエタリ・インキネンに代わり）／チェロ：山崎伸子（ピアノのティル・フェルナーに代わり）／ハイドン《チェロ協奏曲第1番》など
- ・4月23日第420回プレミアム定期演奏会／指揮：レナード・スラットキン／細川俊夫《さくら》など
- ・5月2日第417回定期演奏会（1月21日からの延期）／指揮：秋山和慶／ヴァイオリン：辻彰彦／シヨスタコヴィチ《ヴァイオリン協奏曲第1番》など
- ・5月27日第421回定期演奏会／指揮：下野竜也／マリンバ：小森邦彦／トミ・ライサネン《ポータル》（世界初演）など
- ・6月10日第422回定期演奏会／指揮：チャールズ・オリヴィエリ＝モンロー／オーボエ：フィリップ・トードゥル／R.シュトラウス《オーボエ協奏曲》など
- ・7月8日第423回定期演奏会／指揮：ガエタノ・デスピノーサ／ヴァイオリン：ポール・ホアン／細川俊夫《ゲネシス》など
- ・9月30日第424回定期演奏会／指揮：ゲルゲイ・マダラシュ／ヴィオラ：今井信子／バルトーク《ヴィオラ協奏曲》など
- ・10月14日第425回定期演奏会／指揮：クリスティアン・アルミンク／ヴァイオリン：アイレン・ブリッチン／ストラヴィンスキー《ヴァイオリン協奏曲》など
- ・11月19日第426回定期演奏会／指揮：シルヴァン・カンブルラン／フルート：ワルター・アウアー／尾高尚忠《フルート協奏曲》など

上記以外の広響公演については、名曲コンサートシリーズ「音楽の花東」の2月公演が中止となるも、3月（前年5月の延期公演）、5月、11月に実施。管弦楽の新しい魅力を紹介する「デイスカバリー・シリーズ」は6月、9月、12月（2回実施のうち1回は1月の延期公演）に開催され、マルチヌー、J.ウィリアムズ、シャリノなどの作品を演奏。8月には「平和の夕べ」コンサートにてマラー《交響曲第3番》を（指揮：クリスティアン・アルミンク／メゾ・ソプラノ：藤村実穂子／合唱：東京混声合唱団など）。県内各市の定期公演としては、7月の第32回定期演奏会（指揮：クリスティアン・アルミンク／プロコフィエフ《ロメオとジュリエット》など）、11月の第3回東広島定期演奏会（指揮：沖澤のどか／リムスキー＝コルサコフ《シェラザード》など）。

市民と広響が共演する「第九ひろしま」(中国放送主催)は3年ぶりに合唱団員を公募し、指揮の西本智実を招いて12月に実施。新しく「次世代指揮者コンクール」が8月に開催され国内外の注目を集める。審査員：片山杜秀・四方恭子・下野竜也・沼尻竜典・細川俊夫／演奏：広島交響楽団／第1位：大井駿。

オペラ分野では、ひろしま音楽・オペラ推進委員会が前年8月から延期となった《ドン・ジョヴァンニ》を8月に（芸術監督・演出：岩田達宗／指揮：川瀬賢太郎／管弦楽：広島交響楽団／合唱：ひろしまオペラルネッサンス合唱団）、広島オペラアンサンブルが《魔笛》を11月に（音楽監督・指揮：齊城英樹／演出：豊田千晶／管弦楽：広島センチュリー管弦楽団）、藤

原歌劇団が《蝶々夫人》を11月に（演出：栗園安彦／指揮：鈴木恵里奈／管弦楽：パシフィックフィルハーモニア東京／合唱：藤原歌劇団合唱部）。

現代音楽分野では、細川俊夫音楽監督の「Happy New Ear」シリーズ2公演が12月に。毛利文香（vn）、北村朋幹（pf）、岡本侑也（vc）らが細川、ベリオ、ユン・イサンなどの作品を好演。アンサンブル・アッカが4月に創立20周年記念となる第20回定期公演を（前年1月の延期公演）。

福山。5月にリーデンローズ（福山芸術文化ホール）が「ばらのまち福山国際音楽祭」を2年ぶりに開催（総合プロデューサー：池辺晋一郎、ピアノ：バリー・ダグラス、指揮：岩村力、管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団など／チャイコフスキー《ピアノ協奏曲第1番》など）。また同ホールが「若きヴィルトゥオーゾ・シリーズ」で藤田真央（pf）、郷古廉（vn）ら気鋭の若手を招聘。

三原。芸術文化センター・ポポロが小都市ながら一流の音楽家を招聘しSNSを活用して集客に努める。荘村清志・福田進一・鈴木大介・大萩康司らギターの名手（6月）、鈴木優人（10月）、庄司紗矢香×ジャンルカ・カシオリー（12月）など。

廿日市。はつかいち文化ホールが令和4年度地域創造大賞を受賞。同ホールで10月に「はつかいち室内合奏団」SA・KU・RA」の特別演奏会（指揮：澤和樹／ゲスト：アラン・ムニエ／松本憲治《弦楽オーケストラのための一つの悲歌》世界初演など）。

岡山。4月より秋山和慶が岡山フィルハーモニック管弦楽団のミュージックアドバイザーに就任。3月の定期公演ではコロナ禍により海外演奏家が国内演奏家へ変更となったが、その後はほぼ例年通りの開催。

- ・1月16日ニューイヤー・コンサート／指揮：太田弦／ヴァイオリン：黒川侑／チェロ：岡本侑也／ブラームス《ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲》など
- ・3月13日第71回定期演奏会／指揮・ヴァイオリン：福田廉之介／ヴィヴァルディ《四季》など
- ・5月22日（日）第72回定期演奏会／指揮：秋山和慶／ピアノ：松本和将／ラフマニノフ《ピアノ協奏曲第3番》など
- ・7月24日／第73回定期演奏会／指揮：太田弦／ピアノ：三浦謙司／シューマン《ピアノ協奏曲》など
- ・10月9日第74回定期演奏会／指揮：秋山和慶／チェロ：宮田大／エルガー《チェロ協奏曲》など

鳥根。5月にアルテピア（安来市総合文化ホール）にて広島交響楽団の第29回鳥根定期演奏会（指揮：沼尻竜典／ピアノ：萩原麻未／ラヴェル《ピアノ協奏曲》など）。松江市総合文化センター・プラパホールは改修のため4月から休館（2024年3月までを予定）。鳥根県民会館にて9月に山根一仁ヴァイオリン・リサイタル（ピアノ：大井駿）。

山口。シンフォニア岩国の開館25周年記念として3月にNHK交響楽団（指揮：原田慶太楼／ピアノ：小曾根真／ガッシュウィン《ラブソディ・イン・ブルー》など）。また同ホールにて8月に日本センチュリー交響楽団岩国特別演奏会（指揮：飯森範親／ヴァイオリン：中村大地／ブラームス《ヴァイオリン協奏曲》など）。11月に宇部出身の小林愛実が京都市交響楽団と（指揮：高関健／ショパン《ピアノ協奏曲第1番》など）。ルネッサながと（山口県立劇場）にて6月に宮田大&田村響デュオ・リサイタル。

鳥取。とりぎん文化会館において7月に大阪フィルハーモニー交響楽団鳥取公演（指揮：三ツ橋敬子／ピアノ：中川優芽花／リスト《ピアノ協奏曲第1番》など）、10月に東京二期会による《フィガロの結婚》（指揮：角田鋼亮／演出：宮本亞門／管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団）、12月に小林愛実ピアノ・リサイタル。境港市民交流センターにてオーケストラ・アンサンブル金沢境港公演（指揮：広上淳一／ヴァイオリン：神尾真由子／ピアノ《ブエノスアイレスの四季》など）。